

(別紙1)

[団体名：飯塚市立八木山小学校 緑の少年団]

活動報告書

1 活動名

「社会に開かれた教育課程」を通して、個々のキャリア形成をめざす八木山っ子の育成

～ コミュニティスクールの取組と飯塚市の教育施策の実践を通して ～

2 年間の活動スケジュール

年月日	場 所	活 動 内 容
R2.5.4	学校田	田植え（うるち米）
R2.6.9	中庭の畑	生活科及び自立活動によりジャガイモ掘り
R2.6.12	スタジオ	第1回コミュニティスクール八木山の実施
R2.6.17	スタジオ	外部の横笛 GT による指導①（横笛①）⇒中止
R2.6.19	体育館	緑の少年団、赤十字入団式
R2.6.26	体育館：森林環境教育	森林インストラクターによるネイチャークラフト作成
R2.7.3	パン工房：森ん子	町探検：1・2年生によるパン作り
R2.7.8	スタジオ	外部の横笛 GT による指導②（横笛②）⇒中止
R2.9.9	学校田	稲刈り（うるち米）
R2.9.11	石坂りんご園	校区の果樹園でのリンゴ狩り（3・4年生）
R2.9.30	スタジオ	外部の横笛 GT による指導③（横笛③）
R2.10.9	茜スキー場	スキー教室、学校田うるち米によるお弁当の日
R2.11.18	スタジオ	第2回コミュニティスクール八木山の実施
R2.11.19	高齢者介護施設すずらん	訪問して高齢者との交流（高齢者介護施設すずらん訪問）⇒中止
R2.12.17	体育館	ネイチャークラフト
R2.12.20	体育館、裏庭	八木山ふれあいフェスタ（門松づくり）
R3.1./15	スタジオ、川や山	野鳥観察の事前学習、野鳥観察
R3.1.22	体育館	獅子舞保存会の方々による獅子舞の練習
R3.2.17/19	体育館	獅子舞保存会獅子舞の練習、2分の1成人式で披露
R3.2.21	イヴカコスモモン	どんどこキッズで獅子舞発表⇒中止
R3.3.17	体育館	緑の少年団、赤十字卒団式

3 活動していく中で、「特に力を入れること」や「目標・ねらい」

「特に力を入れること」や「目標・ねらい」

<別途資料>（研究主題）

(別紙1)

5月5日（木）田植えの継ぎ足しをしました（学校田）

昨年度は、緊急事態宣言のため、全国一斉に休校となりました。田植えの早い八木山では、地域の方をお願いして、田植えをしていただき、5日に地域の方の指導のもと、教職員で継ぎ足しを行いました。これからも、八木山老人会やPTAのOBの方にお世話になりながら、水の管理や除草作業を頑張っていきたいと思います。



(昨年度の田植えの様子)



(今年度の植え継ぎの様子)

3年生が石坂りんご園に社会科見学 5月27日（水）

分散登校日でありましたが、5月27日（水）に、3年生が石坂りんご園で、社会科見学として、りんごを育てることへの思いを石坂 茂範さんにかがう学習を行いました。

はじめに、この時期にされている仕事をうかがい、おいしいりんごを育てるための工夫やご苦労の話も聞きました。児童の質問にも、おだやかな笑顔で応えてくださいました。

Q（児童） 「このりんご園は、もう何年されているのですか？」

A（石坂さん） 「石坂りんご園は、はじめて32年になります。」

Q（児童） 「おいしいりんごにするために、工夫していることは何ですか？」

A（石坂さん） 「りんごが実をつけるために、みつばちをかりてきて、受粉させています。」

Q（児童） 「ぶらさがっているペットボトルや電灯は何ですか？」

A（石坂さん） 「電灯は、大きな蛾などの虫除けで、大きなペットボトルには、虫や鳥が好きな液体が入っていてペットボトルの中央の窓から虫が入っていく工夫をしています。」

Q（児童） 「どんな動物が来ますか？」

A（石坂さん） 「猪やうさぎ、あなぐま、たぬきなどを防ぐための防護柵もしています。」

Q（石坂さん） 「虫や鳥や動物の他に、りんごを育てていくために来てほしくないものを知っていますか？」

最後の質問は、少しむずかしいかなと思っていましたが、しばらくして「台風です。はげしい風が吹いて、大事なりんごの実を落とすから。」と答えることができました。

ご多用な中にもかかわらず、丁寧に対応していただきありがとうございました。秋の収穫の時期に、またうかがうのを児童はとても楽しみにしているようです。



みんなでジャガイモ掘りをしました。6月9日(火)

○ 6月9日の昼休みに、八木山小学校のみんなでジャガイモ掘りをしました。上学年がリードしながら、低学年も笑顔でジャガイモを掘りました。「茎を引っぱると、根っこにたくさんのジャガイモがついていたよ。」とうれしそうでした。最後まで、上学年が頑張ってくれました。



歓迎集会、緑の少年団・青少年赤十字入団式(6月19日)

お別れ式の後、新1年生歓迎集会を行いました。1名の新1年に全校児童からプレゼントが渡されました。また、コロナ禍のため、ゲームなどは行えませんでした。みんなからお祝いされ、一緒に楽しくすごすことができました。

次に、八木山小学校緑の少年団、青少年赤十字の入団式を行いました。3月に5名が卒団し、1名が新たに入団したので17名となりました。

今年も野鳥観察を行ったり、緑の少年団交流集会(昨年度は中止)に参加したりします。また、青少年赤十字では、防災について学んだり、ボランティア活動に取り組んだりしていきたいと思えます。



緑の少年団、青少年赤十字の入団式



6月26日(金)に、森林環境教育を行いました。

森林インストラクターが5名来校され、6月26日の2・3校時に、身近な森林の環境について学びました。八木山っ子のために、何度も下見にきていただき感謝しております。

密にならないように、4つのグループに分かれ、学校の周辺の木々を巡りました。

はじめに、グループの先生から、「何か質問がありますか？」と言われました。すると、低学年の児童が、「食べられる葉っぱはありますか？」と質問をしました。学校の裏側で、大きな山椒の木があり、独特の香りや食べ方などを教えていただきました。

共生という点からは、大きな別の種類の木に苔などが生え、そこに、楓が生えている木もありました。また、大きくなったため、根元近くから、伐採されていたイチヨウの木の根かぶの周りに、びっしりと小さなイチヨウの木々が生えている木もありました。これらの木の楓やイチヨウは、そのうち、自然淘汰されていくという話も興味深かったです。

また、運動場の桜の木に、梅苔が生えている状態などを見て、「この桜の木は少し弱っていることと、この梅苔が生えるということは、自然環境的にこの八木山の地が良い状態だということがわかります。」と教えていただきました。

なにげなく見ている木々の中には、白い大きな花が咲き香り漂う「タイサンボク」もありました。八木山小学校には、たくさんの木があることがわかりました。

さらに、福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所地域環境課の方々が、猟友会からの寄付だと、毎年、9本程度、実のなる木を寄贈していただいています。毎年、野鳥観察をしている本校周辺に、たくさんの野鳥が来るようにと、植樹も続けています。森林インストラクターからも、「それで、実のなる木が多いんですね。」と言われました。

その他、木の高さも、補助具を使って測る方法を教わったり、紙芝居で八木山の神話や緑のダムの大切さなどを学んだりすることもでき、久しぶりに、森林浴を味わいながら、八木山小学校の周りにある自然を堪能しました。



- ・ 校長室裏にあるタイサンボクの白い花(上)
- ・ フェースシールドでの紙芝居 森の働き(下)



- ・ 補助具で木の高さを測る。

- ・ 大木に共生する楓の枝。(上)
- ・ 切られた根かぶに密集しているイチヨウの木々。(下)



「森ん子」で手作りパンを作ったよ！（7月11日(火)）

生活科の「まち探検」の学習で、毎年お願いしているパン屋さんの「森ん子」さんで、新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、手作りパンの体験をさせていただきました。

まず、店内に入るとパンのふくよかな香りが漂う中、パン作業の説明の後、パン作りについての思いや願いを話していただきました。次に、一人ずつ「メロンパン」と「あんぱん」の生地を丸めたり、伸ばしたりしてしながら、パン作りの体験をさせていただきました。「パン作りをしてうれしいことは？」や「新しいパンのアイデアは？」などの質問も頑張りました。



自分で作ったパン作り体験

生活科で、サツマイモ苗など野菜の苗を植えました。

○ 毎年、大谷光康さん（本年度から八木山地区自治会長）が、八木山小学校の生活科のためにとサツマイモの苗を寄贈してくださいます。本年度も、元気のないサツマイモの苗が届きました。

生活科の単元「めざせ野菜名人」の学習で苗を植える活動を行いました。この後、水やりなど野菜名人をめざす活動を継続的に行い、11月のおいもパーティーへとつながっていきます。

今年も、おいしいおいもが育つようにと心をこめて育てています。きゅうりやなす、ミニトマトなどがぐんぐん育ち、特に立派なきゅうりがたくさんとれています。



地域の伝統文化を受け継いでいます。

横笛G Tの木村光江先生（医療従事者のため2学期のみ）からは、伝統芸能の横笛やふれ太鼓、相撲甚句などを機に応じて教えていただいています。

また、八木山獅子舞保存会の方々（獅子舞保存会会長の松尾守様、横山武城様、石坂哲也様、）の方が来られ、獅子舞について指導をしてくださいました。

このように、地域の方や外部の先生方のお力添えをいただきながら、恵まれた環境で学ぶことができます。

日本文化の一つである横笛教室



地域の方で育つ八木山っ子！八木山獅子舞の活動

※ 八木山獅子舞保存会の皆様のご指導（1月22日、2月17日）や飯塚鎮西交流センター主催の放課後子ども教室「やきやまっこ」（2月18日～）でご指導いただき、八木山獅子舞を2月19日の2分の1成人式で、3密を避け、十分にコロナウイルス感染予防を徹底した上で、披露することができました。3月5日の6年生を送る会でも披露する予定です。

伝統ある八木山獅子舞ですが、これは、11年前くらいに復活したものだということです。衣装をまとい、囃子に合わせて舞う姿はとてもかわいらしく心をうちます。昨年度の高齢者介護

2分の1成人式で、八木山獅子舞を披露している様子(左)、獅子舞保存会の方々の指導(右)



いつも、温かい指導をありがとうございます。



ずいぶん上手になってきました。「動」と「静」をはっきりするとさらによくなります。



稲刈りの丁寧なご指導、ありがとうございました。

彼岸花が美しい季節になりました。9月9日(水)に稲刈り(9:45~11:30)を行いました。八木山地区の上区と下区の老人会の皆様をはじめ、自治会長様や地域の方々から、八木山っ子に稲刈りを丁寧にご指導いただきありがとうございました。台風が過ぎ去ったばかりで天気が心配でした。またコロナ禍でありましたが、八木山っ子は稲刈りや稲を干す体験をすることができました。母親委員会からの差し入れも大変喜んでいました。この新米は脱穀⇒精米し、10月9日(金)に、秋の遠足を兼ねてのスキー教室(サンビレッジ茜)にお弁当にして持って行きます。昨年度に続き自分たちで刈り取ったお米を使って、「お弁当の日」の食育に取り組みます。

テレビ局はNHKとKBC、新聞社は朝日、毎日、読売、西日本が取材に来られました。



稲刈りと刈った稲を干すの様子、最後はみんな笑顔で!!

秋空の下で、スキー教室に参加しました。

すすきの穂が風に吹かれて、秋の深まりを感じる心地よい季節になりました。10月9日(金)には、秋の遠足でサンビレッジ茜でのスキー教室を体験しました。台風を心配しましたが、体調不良で1名欠席者も出て残念でしたが、晴天に恵まれ、自分のペースでスキー体験を行いました。

この日は、稲刈りをした新米で「お弁当の日」の食育の取組も行いました。脱穀は、自治会長の大谷様、もみすり・精米は、横山武城様にお願いしました。

家族のアドバイスで計画したり作ったりしたお弁当をおいしそうにほおぼる児童の笑顔が印象的でした。ご家族の協力により「お弁当の日」を取り組み、食育指導もできました。



スキー体験での様子(上)、新米で弁当作り(下)、最後は笑顔で!!



「地域の方々とPTA父親委員会で門松作り」



新年あけましておめでとうございます。寒の入りとともに寒さもいよいよ厳しくなる季節となりました。さて、12月20日（日）の9：00から約2時間、飯塚市立八木山小学校の裏庭と玄関において、「2021年を迎えるための門松作り」が、コロナ対応をし3密回避で実施されました。

準備は、18日（金）の9：00から、八木山の自治会長の指導のもと、PTA会長や学校教職員で、松や梅などの準備をしました。特に、竹は長さが4m以上もあり、切り出しから学校に運ぶまでも大変でした。

20日（日）当日は、八木山上区と下区の老人会会長、獅子舞保存会会長、自治会長、飯塚鎮西交流センター長、八木山環境保全委員会の方々に来校していただきました。本校の父親委員会や児童の一部も参加し立派な門松が出来上がりました。

21日（月）に登校してきた児童は、「わあ、すごい。迫力あるね。」「この門松の材料は、ほとんど八木山でとれたものらしいよ。自然がいっぱいだね。」「八木山の方々が、心を込めて作ってくれたよ。」「竹を割るのや葉ぼたんを植えるのは、私たちも手伝ったよ。」と、感嘆の声を発していました。声を出さずに一瞬だけマスクを外して、全校で写真を撮りました。

この門松に迎えられ、よい年になりますようにと祈りつつ、今年も八木山地区の皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



1月の野鳥観察で、21種類見つけました。

1月15日（金）に、日本野鳥の会から、3名（野村さん、柴田さん、木村さん）が来校されて、野鳥観察が行われました。また、この日は、例年「実のなる木」の植樹でお世話になっている福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の地域環境課からも、2名（五十川さん、平野さん）がお見えになり、ご指導していただきありがとうございました。

福岡県のHPにも、アップされていますのでご覧いただければ幸いです。

県庁トップ⇒①テーマ⇒②自然環境⇒③鳥獣保護⇒④冬の野鳥観察会 in 八木山小

コロナ禍で休校中だったために、4月の野鳥観察（夏鳥・留鳥）はできませんでした。しかし、1月の野鳥観察では、21種類以上の（冬鳥・留鳥）を見つけることができました。

水場では、コガモやイソシギを見つけました。エナガやカワラヒワも間近に観察したり、図鑑を片手に、確認したりしながら学ぶことができました。大きな望遠鏡や双眼鏡で、鳥の様子をじっくりと観察することができました。



冬の野鳥の説明



冬の水鳥の観察

祝 第百回 卒業証書授与式・卒団式

3月17日（水）に、第100回飯塚市立八木山小学校卒業証書授与式・卒団式を行うことができました。コロナウイルス感染予防の為、短い時間でのセレモニーでしたが、快晴の下、保護者や教職員の温かい拍手と声に見守られて、2人の卒業生が巣立っていきました。



正門から飛び立ちました



温かい拍手に見守られて

